



安心安全ケータイ教室～スマホ時代の子どもたちを犯罪・トラブルから守るために～



現代生活に欠かせないものとなったケータイ・パソコンですが、未熟な子どもたちにとっては、一歩間違えば危険な道具になってしまいます。『スマートフォン』の普及でインターネットがより身近で便利になった反面、子どもたちがネット犯罪に巻き込まれるリスクが大きくなってきています。子どもたちを被害者にも加害者にもしないために親としてできることは何でしょう。

今回の講座では、山口市が取り組みを進めている「ケータイ・ファミリールール作成推進事業」とタイアップし、ケータイ利用に伴う子どもたちの犯罪被害やトラブルの現状を理解するとともに、お子様にケータイを持たせる際の家庭での心構えについて学びました。

☆☆☆ 内 容 ☆☆☆

1. どんなトラブルがあるのか、その対処法は？
2. スマートフォンとは何か？
3. 無料通話アプリについて
4. ケータイ（スマホ）を持たせる際の注意点
5. ケータイ（スマホ）を持たせる際のルール作りについて
6. 最後に…



【講師の大久保 輝夫先生】

『大久保先生のお話から…』

1. どんなトラブルがあるのか、その対処法は？

○子どもたちのケータイ・スマホ・インターネットのトラブルの原因

①個人情報の掲載による危険 ⇒ ブログストーリーに注意

ブログやSNS に載せている情報（顔写真・名前・学校名・住所・日記等）をもとに居場所を特定する。

☆☆ポイント☆☆

個人情報公開＝危険大

個人情報は出せば出すほど危険が増す！

どこまでだったら大丈夫、そんな保障は一切ない！

②不用意な情報発信による危険（誹謗・中傷・犯罪予告・後先を考えない書き込みなど）

【掲示板に潜む危険】

- ・ウソの書き込みがされていることがある。
- ・書き込みのやり取りからトラブルに…。
- ・書き込まれた個人情報が削除されるまでにはタイムラグがあり、その間に色々な人が見てしまう。
- ・遠くから知らない人が会いに来ることもある。
- ・大人が子どもになりすましていることがある。

※トラブルに巻き込まれなくなかったら、上の①②はしないほうがよい。

○今の子どもたちに必要な力 ⇒ **想像力**（先のことを予測する力）



インターネットの世界では重要な力

○想像力がなぜ必要なのか ⇒ 発信された内容は、世界中のいろいろな価値観をもった人が見ている。自分が発信したものがどのような影響を及ぼすか、どのように受け止められるかなど、先のことを想像して書き込まなければならない。

○不正アクセス禁止法について

小中学生、高校生の不正アクセス禁止法での補導が非常に多い。

子どもたちにとっては「ＩＤ・パスワード」は合言葉程度の認識。(認識が低い)

(例) チャットで中学生のパスワードやＩＤを聞き出し、その子になりすましてサイトに侵入した小学生が補導された。



○ネット上に写真を掲載する際の注意点

ブログなどを見ている人の中には、我々の想像を超えたとんでもないことを考えている人もいます。ネット上に顔写真を掲載すると、自分の知らないところで悪用されることもある。

男の子なら大丈夫か ⇒ ネット上に写真をコピーされ、いたずら書きをされたり、誹謗中傷などを書き込まれたりすることもある。

写真に埋め込まれる「ジオタグ」に注意

※ジオタグとは・・・GPS機能を使った写真に埋め込まれた位置情報(緯度・経度)のこと

⇒簡単なソフトを使えば、写真の位置を簡単に特定できてしまう。

⇒GPS機能がついたカメラやケータイで写真を撮影するときは、必ず位置情報をカットしてから撮影をすること。

☆☆ポイント☆☆

インターネットに書き込まれた情報はあっという間に広がる。消すことは困難。
軽い気持ちでしたことが、重大な結果を招くこともある。

○SNS(ソーシャルネットワークサービス)って安全なの？

↓

個人情報の宝庫 ⇒ 個人情報が漏れたために様々なトラブルが起きている。

- ・SNSは、商売に利用するなど、活用方法によっては便利なものだが、個人情報を載せる場合は危険が伴うことを覚悟の上で利用してほしい。
- ・色々な交流サイトがあるが「**どんな目的でやるのかを明確に**」しておくこと。
⇒何を書くのか、誰を「友達登録」にするのかによって、どこまで公開するかが決まってくる。
- ・今の子どもたちは「友達がやるから私もやる」といった軽い気持ちで始めてしまう。

○非コミュニティサイトに注意！

他人による書き込みや誹謗中傷で、その人が将来、不利益を被ることがある。

- ⇒見つけたら・・・
- ①アドレスを書き留める。
 - ②証拠を保存する。(デジカメなどにその画面を保存)
 - ③管理人やプロバイダに削除を依頼する。

※内容がひどいものは、大きな警察署にある「サイバー犯罪相談室」へ相談する。

(例) ある高校生がサイト上にウソの書き込みをされ、知ってはいたが消さずに放置。

⇒高校3年生になって就職が内定したが、人事担当者がその書き込みを見つけ内定が取り消しに。

○ゲームサイト上でのトラブル

- ・ゲームサイト上で簡単にメールのやり取りなどができるので、知らない人と知り合えてしまう。
⇒出会い系？
- ・ゲームをするには登録が必要だが… ⇒ 登録するのに年齢などを簡単に詐称できてしまう。

- ・悪質な要求に一度応ずると、要求はさらにエスカレートする。

⇒「写真をばら撒かれたくなかったら…」など

- ・ゲームサイト上でのトラブルの例

(例) 子どもがゲームのアイテムを買いいたいというので、クレジットカードの番号を親が一度だけ入力して購入した⇒一度入力すると番号が登録されてしまうため、その後は子どもが勝手にIDとパスワードだけで購入していた⇒高額な請求がきてビックリ！！

☆☆トラブルに巻き込まれないために☆☆

- ① 個人情報を書き込まない。
- ② ネットで知り合った相手をすぐに信用しない。
- ③ 相手の気持ちを考え、慎重に発言（発信）する。
- ④ 節度を守った利用を心がける。



- ・「ネットゲ廃人」 ⇒ 自分の将来に希望が持てない人でも、ゲームの中では着実にキャラクターが成長していき、現実社会にはない達成感を感じることができるので、夢中になってしまう。

(例) ゲームに夢中になりすぎて「過労死」した人も。

(例) 「アバター」とまったく同じ力を自分が持ったと錯覚し、「アバター」と同じ格好をして空を飛ぼうとして、ビルの屋上から飛びおりて亡くなった。

- ・「自分を承認してほしい」と切望している子どもにとって、「オンラインゲーム」は数少ないコミュニケーションツールである。(ネットワーク依存) こういう子どもたちからゲームを取り上げても何の解決にもならず、専門家のカウンセリングを受けることが必要。家庭内でのコミュニケーションが円滑に行われている子どもは、比較的立ち直りが早い。⇒**家庭内のコミュニケーションが大切**

○ネット犯罪に注意！！

- ・架空請求メール ⇒ メールでの請求は、法律上認められていないので**無視・削除**すること。
⇒ 間違いだと思って電話をかけたりメールを返信したりしないこと。電話で脅されてお金を要求されたり、話しているうちに個人情報を聞き出されたりしてしまう。

○最近多いインターネットトラブルに関する相談事例

- ・突然パソコン画面上に画像が張り付いて消えなくなり、画像を消すための金銭を要求される。
⇒ウイルスに感染している状態。そうなる前に、ウイルスソフトを必ず入れて、フィルタリングをかける！全国で2万人以上が被害にあっている。

2. スマートフォンとは何か？

携帯電話（フィーチャーフォン）…電話機能が進化したもの。

スマートフォン（スマホ）…パソコンの機能を削ぎ落としたもの。通話はおまけ。

○子どもたちはスマホを使って何をしているのか

1. ゲーム
2. You Tube
3. ツイッター
4. LINE (ライン)

⇒どんなコンテンツを見ているかが問題

○スマホ…WiFi（無線LAN）に接続できる。アプリ（様々な応用ソフト）をインストールできる。

○スマホをインターネットに接続するには2つの方法がある。

- ①契約している携帯電話会社の回線を利用する方法
- ②WiFi（無線LAN）を利用する方法

○スマホは二重のフィルタリングの必要性がある。

①契約している携帯電話会社のネットワーク型のフィルタリング

②WiFi（無線LAN）用のフィルタリングソフトのインストール

○会社によっては「オールインワン フィルタリングアプリ（無料）」の提供を開始している。

⇒利用する回線に関わらずフィルタリングしてくれる。

○子どもにスマホを持たせる際には、お店で契約するとき、フィルタリングについて色々質問した方がよい。

○WiFiの野良アクセスポイントに注意！！

情報を盗む目的で、鍵マークのついていない「野良アクセスポイント」を設置しているところもあるので、個人情報を盗まれないように注意が必要。

（対策例）「オールインワン フィルタリングアプリ（無料）」のダウンロード



【講座の様子】

3. 無料通話アプリなどについて

○無料通話アプリとは

- ・ダウンロードすると、同一アプリの利用者同士であれば、通話料金を払わずに音声通話をしたり、チャットやメッセージ機能を楽しんだりすることができる。（インターネット通話）
- ・最近では機能が拡大していて、通話以外にも、登録しておく「天気予報」や「占い」などが毎日届いたり、グループトークができるので人気がある。

⇒使いすぎ（時間の浪費）が問題！！

○無料通話アプリでできること

- ①通話・メールができる。
- ②スタンプや絵文字を使ったチャットができる。
- ③SNS機能を使って「自分」の現状を投稿したり「友達」の近況を知ったりすることができる。
- ④「天気予報」や「占い」を登録すれば自動配信してくれる。
- ⑤グループを作って「友達」を招集し、グループトーク（チャット）ができる。⇒グループ内だからと思って人の悪口などを書き込むと、外部に漏れて大問題になることも…。

○無料通話アプリのメリット ⇒ インターネット通話なので災害時に繋がりやすい。

○無料通話アプリを利用登録する際の注意点

- ・IDは個人情報と同じなので、取り扱いは慎重に！携帯番号やメールアドレスと同じ。

プライバシー管理の徹底⇒利用規約やプライバシーの管理方法を十分理解して使うこと。無料通話アプリはあくまで親しい友人や会ったことのある人とコミュニケーションするためのツール。

○アプリをやめるとき

- ・通常のアプリ …アンインストールするだけでよい。
- ・無料通話アプリ…退会の手続きをしないとサーバー上に残っている電話帳は削除できないので注意！



○その他の危険なアプリ

アプリの世界は無法地帯

(例)「無音アプリ」を使い盗撮⇒ツイッター上に写真を掲載⇒写真を見た別の者が掲載者を特定
⇒盗撮した本人の写真をネット上に掲載⇒就職内定が取り消しに



インターネット上でいたずらは、何倍にもなって自分に返ってくる。場合によっては将来まで台無しにすることになりかねない。

○アプリを初期登録する際の「同意項目」について

- ・チェックを入れるときは、きちんと目を通してから！「現在地」の項目にチェックを入れるとGPS機能を、「電話/通話」の項目にチェックを入れるとスマホの電話番号を自由に使えることを認めることになる。これらを認識せずにインストールすると、業者側に対し、個人情報の外部利用を自ら認めたことになる。
- ・どんな個人情報をアプリの業者に出すか出さないか、どのような個人情報を提供することになるのか把握すべき。
- ・「偽アプリ」もあるので公式マーケット以外からインストールしないこと。
⇒同意項目が一切ないものはウイルスの可能性がある。



☆☆☆アプリ利用の注意点☆☆☆

- ①被害者/加害者になる可能性があることを自覚すること。
- ②インストール時、個人情報提供の同意項目に注意すること。
- ③公式のマーケット以外からインストールしないこと。
- ④やたらとアプリをダウンロードしないこと。

4. ケータイ（スマホ）を持たせる際の注意点

- ①機器の設定：フィルタリング活用（好ましくないサイトの閲覧禁止など）や適切な機能利用（通信設定やアプリのインストールなど）をする。
- ②家庭内でのケータイ・ネット利用の最低限のルール作りをする。
- ③家庭内のコミュニケーションをとることが大切。

5. ケータイ（スマホ）を持たせる際のルール作りについて

○スマホを渡すときのルール

スマホを使う目的を明確にして、危険な部分について家族で話し合い、家庭の全員が守るルールを作る。



親が具体的に分かりやすく説明する。

○ルール作りのポイント

- ①小さく具体的で守りやすいルールを
(例)「夜10時以降は携帯電話を親に渡します」など
- ②子どもにルールを宣言させる ⇒ 子どもに決意をさせることになる。
(ルールを守る意識は自分で宣言するからこそ意味がある)

③ルールを二重構造にしておく（ルールを守れなかった場合のメタルールも決めておく）

罰則ではなく約束を破ったときに自ら責任をとるためのもの

（例）「1週間スマートフォンを親に預かってもらって使いません」など

○スマホ18の約束

クリスマス日に、米国マサチューセッツ州のあるお母さんが13歳の息子にiPhoneをクリスマスプレゼントとして与えた。しかしそのiPhoneの箱には、彼女が作った使用契約書も入っていた。

○子どもを被害者・加害者にさせないための保護者の役割

①スマホをただ与えるだけではなく、ルールを決めて守らせること。その怖さを日頃から伝えることも大切。

②「あなたのアメピグ見せて」と自分の子どもに言えるくらい、風通しのよい関係を築く努力をする。
⇒家庭内でのコミュニケーションが重要。



ペアレンタルコントロールが必要！

☆☆☆スマホを持たせる際のポイント☆☆☆

- ① 勝手にWiFiに接続できないようにする。
- ② アプリの利用を制限する。
- ③ 使う目的を明確にして危険な部分について家庭で話し合い家族全員が守る。
- ④ 家族のコミュニケーションが大切 ⇒コミュニケーションが取れている子どもは、ネットいじめの被害者にも加害者にもなりにくい。
- ⑤ スマホは親のもの。一時的に子どもに貸しているものという意識づけが必要。
- ⑥ 就寝時は居間の充電器に置く。（ベッドに持ち込まない）

「フィルタリングをつけない、最低限のルールも決めないのは、お子さんを暗い危険な夜道を一人で歩かせるようなもの」

6. 最後に…

「愛情」の反対語は「無関心」です。

（マザー・テレサの言葉）





受講生の方からいただいた貴重なご意見の一部を紹介します



- インターネットが複雑になり、分からないまま利用していることが多いので、本日はとても勉強になりました。子どももスマホを買ったばかりだったので、教えることができ良かったです。親子で気をつけながら利用したいと思います。親のほう知らないことが多いので、このような講座をまた開いてほしいです。とても分かりやすかったです。
- とても分かりやすかった。これからスマホを持つ子どもたちにこそ聞かせたかった。
- 携帯電話のこともしっかり分かっていない自分なので、今日のお話は大変良かったです。子どもに伝えます。ありがとうございました。
- いまだきの子ども（小・中・高）のケータイ・スマホの実態が強烈で、驚いた！というのが本音です。うちの子はまだ小さいので持たせていませんが、中学生になる息子に一度せがまれたので、今日の講習はとても参考になりました。持たせることのメリットとリスクを一度親子で話し合い、規範意識・コミュニケーションの大切さも育てていけたらと思いました。
- 具体的な事例や体験談からのお話は分かりやすく、話し方もおもしろく、時間があっという間に過ぎました。私はまだ子どもに携帯も持たせておらず、直接、問題やトラブルに出会った事はありませんが、友達同士のトラブルはよく耳にします。これから家族でスマホを持つときは、先生からのご助言を思い出し、ルールを作って渡そうと思います。
- 物物的なものばかりがどんどん進んでいって、そこに気持ちや思いが追いつかないこともあり、ケータイやスマホを子どもたちに持たせる機会に親子でしっかりと話し合う必要があるなと思いました。
- とても興味ある内容でした。私もスマホを使っていますが、問題点も見つかりました。子どもたちのPCとの関わりがとても気になっていました。これから携帯を持つことになるので、今回のことをよく話し合い、役立てていきたいと思いました。よいお話をありがとうございました。
- すごく参考になりました。まだ、子どもに携帯は持たせていませんが、与えるときは色々考え、話し合いをして与えたいと思います。ありがとうございました。
- 危険性がよく分かりました。無知は怖いと思いました。大変参考になりました。
- 上の子にはスマホを持たせていますが、親としてあまりにも無関心であったと反省しています。恐くなりました。この講座を1年前に受けておけば良かったと思います。早速帰ってこれから持つ子とあわせて家族でよく話し合いたいと思います。ありがとうございました。
- 家庭でのルール作り、コミュニケーションの大切さを実感しました。ありがとうございました。



ありがとうございました